

近況報告～ 「災害復興へ、新たなまちづくりをめざす」研修会のお知らせ

平成23/12/30

1月28・29日の両日、
東京渋谷の（財）市川房枝記念会・女性と政治センターで
「災害復興へ、新たなまちづくりをめざす」政治参画フォーラムがあります。

私も、市川房枝さん（元参議院議員・婦人参政権獲得運動に尽力）が残された財団の維持員として17年、
同会の政治参画セミナーに年3～4回通っていますが、全国の市民派女性議員が集まり、実践的な研修会を行っています。
今回は、一般の方々にもぜひ聴いていただきたい内容なのでお知らせを。

<プログラム 28日>

午前 「災害とジェンダー～女性地方議員の役割に期待する」 前千葉県知事 堂本暁子氏
午後 「災害と自治の問題点」 法政大学教授 廣瀬克哉氏

<プログラム 29日>

午前 「立候補を志す住民参画型の選挙運動について」 記念会理事
同 「被災時および今後の地域医療体制と生活再建について
～被災地開業専門医の立場から」 盛岡大学教授・前宮古市長 熊坂義裕氏
午後 「災害下の議員活動と市民の連帯」 気仙沼市議 佐藤輝子氏
郡山市議 滝田春奈氏

参加費 13,000円

問い合わせ <http://www.ichikawa-fusae.or.jp>

近況報告～ 片田教授の「想定を超える災害にどう備えるか」講演会のお知らせ

12/30

24年2月5日（日）午後3時30分から、一色町公民館ホールで
防災講演会が行われます。

副題は、「命を守る主体的姿勢を与えた釜石市津波防災教育に学ぶ」

今や引っ張りだこの群馬大学教授の片田敏孝氏の名は、ご存知の方も多いと思います。

釜石市の小中学校で、地震・津波の防災訓練を指導し、

「津波てんでんこ」の教えを守って、多くの子どもたちが周辺住民とともに、
的確な状況判断のもと、安全な場所まで避難することができました。

まさに、命を守った防災教育ですが、同氏いわく、

「この子たちにしっかり教えれば、10年後20年後、親になった時に生きてくる」

「長期的視点に立った、釜石市全体に行き渡らせる教育」をと、時の市長の要請を

受けて、釜石市に8年通っておられたそうですが、単発の講義だけでなく、

学年に合わせて、津波発生メカニズム、高さや時間の予測などなど、

小中学校の先生方と独自に考えたカリキュラムが授業にも、

しっかり取り入れられていたと聞きます。

「どんな津波が襲ってきてもできることがある。それは逃げることだ」

「君たちは守られる側ではなく、守る側だ。自分より弱い立場にある小学生や

高齢者を連れて逃げるんだ」と紹介されています。

どうぞ、今から予定に入れておいて下さい。市主催、入場は無料です。